



文学のまち大津
City of Literature Ōtsu

—文学のまち大津—

源氏物語から立ち上げる“湖都の言の葉”in 石山寺

～時代を経て変わってきたものと変わらぬもの～

meets

湖都の葉ミニマルシェ「文学作品のフリーマーケット」

出店要項

2月21日(土)に開催される『源氏物語から立ち上げる“湖都の言の葉”in 石山寺～時代を経て変わってきたものと変わらぬもの～』イベント内の一環として実施する湖都の葉ミニマルシェ「文学作品のフリーマーケット」への出店者を募集します。

※本企画は、11月に実施している「湖都の葉マルシェ」とは規模の異なるミニ企画です。当日来場者向けの小規模フリーマーケットとして実施します。

1. 日時

令和8年2月21日(土)10時～14時

2. 場所

大本山 石山寺 拾翠園 ※屋内会場

※宗教施設という特性上、注意事項があります。本出店要項をご熟読のうえ、お申し込みをお願いいたします。

3. 主催

大津市

4. 出店資格

文学作品を販売できる個人・グループ

※18歳未満は保護者同伴

※大津市外にお住まいの方も出店可能

5. 募集期間(抽選制)

令和7年12月15日(月)～令和8年1月6日(火)

6. 申込方法

専用フォームにてお申し込みください。

※申込の際は、屋号(店名)が必要です。

※事務局で受付が完了しましたら、受付完了メールをお送りします。

※募集期間終了後、抽選のうえ、出店者を決定いたします。

※応募多数の場合は、市内の方を優先します。

抽選結果については全ての応募者に1月12日(月)頃メールにてお知らせします。※出店内容がイベントの趣旨にそぐわない場合は出店をお断りする場合があります。

<専用フォームは以下 URL または右記 QR コードからアクセス>

<https://questant.jp/q/I94UROQ4>



7. 出店料

無料

8. 定員

20ブース程度。

1ブースは長机の半分(90cm×45cm)となります。このブース内で展示販売を行ってください。

※パイプ椅子を1ブースにつき2脚設置します。

※出店場所は事務局で決定します。

※開催の3週間前(1月下旬)を目安にブースの場所をご案内します。

9. 出品物

個人やグループによる自費出版物(同人誌・ZINE 等)及び商業出版物。

※自身の文学作品を販売しない古本のみの販売出店も可能とします。

(1) 出品物例

小説、評論、エッセイ、ノンフィクション、詩・和歌・俳句、絵本、漫画、アート(写真、イラストなど)、古書(古本) など

- (2)価格の提示はスリップ(短冊)やポストイットシールなどをそれぞれに添付してください。
- (3)有料販売、無料配布は問いません。雑貨などの併売も可能です。
- (4)以下のものは出品できません。
 - (ア)著作権に違反する内容(二次創作物など)、成人向け書籍等
 - (イ)飲食物、酒、化粧品(薬事法)全般
 - (ウ)表象でないもの(鉱石、金属などで作品性・作家性が認められないもの)
 - (エ)無形のもの(占い・カウンセリング・悩み相談・コンサルティング等)
 - (オ)金券(オリジナルデザインの切手やプリペイドカード等)
 - (カ)液状・ゲル状・クリーム状のもの(ビンやパウチ等に封入されたものも不可)
 - (キ)非常に高額なもの(貴金属や宝石を利用した宝飾品など)
 - (ク)法令に反するもの
 - (ケ)特定の宗教・宗派・信条を揶揄・批判・勧誘する内容

10. 準備物

釣り銭は各店にてご用意ください。会場内で両替はできませんので小銭の用意をお願いします。また各店にゴミ袋などの準備もご協力ください。

貴重品等は、各自で管理してください。

11. 搬入・撤収

搬入は当日の9時以降に行ってください。本部で受付後、ブースへの搬入を行ってください。
※時間より早く撤収されたい場合はご相談ください。

12. 駐車場

無料駐車場の用意はありません。公共交通機関や、石山寺有料駐車場(500円)をご利用ください。会場内に車の進入はできません。門前の横付けはご遠慮ください。

13. その他

- (1)会場は禁煙です。
- (2)会場の拾翠園は志納所の手前に位置しており、入山料(600円)のご志納は必要ありません。どなたでも無料でご来場いただけます。

(3)円滑な運営のため、会場ではスタッフの指示に従っていただくようお願いいたします。他の出店者や、石山寺及び石山寺周辺に迷惑のかかる行為や、法律に違反する販売行為が認められた場合、出店の中止をお願いすることがあります。

<イベント背景>

大津市は、短歌や俳句、源氏物語などと深いゆかりを持つ多くの文学資源に恵まれています。昨年度の大河ドラマ「光る君へ」を契機に、地域の文学への関心が高まる中、『文学のまち大津』として官民が連携し、その魅力を国内外へ発信しています。

本イベントは、紫式部が源氏物語を着想した石山寺を舞台に、源氏物語と石山寺の文化的価値を改めて紹介し、大津がもつ文学の魅力を市内外に伝えることを目的としています。当日は、トークイベントや読書会なども予定しており、源氏物語を中心とした文学に親しんでいただける機会になればと考えています。イベント内容の詳細は、1月下旬に市ホームページ等で案内予定です。